

# りんご研究所の 沿革と最近の主な研究成果



（現庁舎 S 43年落成）

（地独）青森県産業技術センターりんご研究所

# 1 沿革

- (1) 昭和6年に現在地において苹果試験場として開設
- (2) 昭和25年に青森県農業試験場りんご試験場と改称
- (3) 平成21年に地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所となる。
- (4) 令和3年には創立90周年を迎えた。
- (5) 栽培部、品種開発部、病虫害管理部、  
県南果樹部（五戸町）の4部体制で試験研究や  
技術の普及・支援に努めている。



りんご史料館（旧庁舎）

- 現庁舎落成後、55年が経過したことに伴い、施設や設備の老朽化が著しいほか、**生産者の所得確保に向けた、研究機能の強化や指導環境の整備**が求められている。

※りんご研HP掲載の05資料2 添付資料1 整備基本計画参照

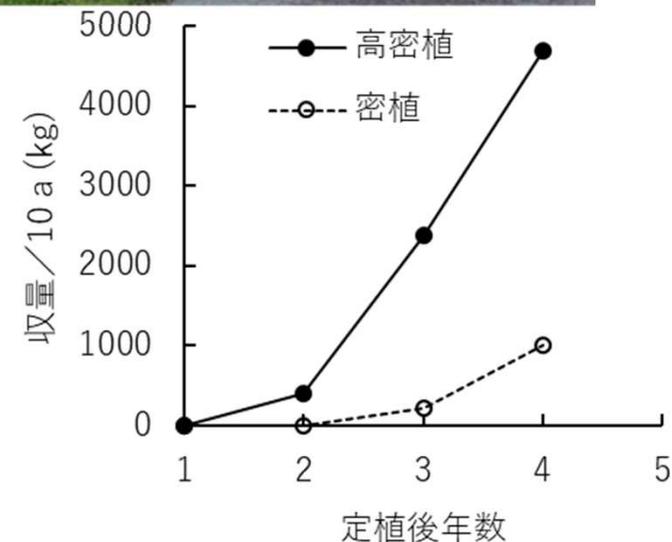
- 生産者等への対応実績**（令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大前）
  - ・研修会等実施回数64回（延べ受講者数4,118名）
  - ・電話や来所による相談件数923件
  - ・参観デー入場者数5,000人以上
  - ・試験成果・情報発表会参加者数 250名
  - ・史料館来場者数 179組(979人)

## 2 主な研究成果

### 高密度植栽培など耐雪性を有する省力栽培樹形に関する研究



- 高密度植栽培は早期多収で、  
10 a 当たりの収量は定植4年目で  
約4.7 t と密植栽培の約4倍となっている
- 施設費、苗木費等の初期経費の低減や、  
適正な着果基準の策定などの課題を解決し、  
本県に適した栽培方法の確立をめざす



スマート農業技術の導入に向けた研究、  
効率的な結実管理法に関する研究



無人スピードスプレーヤの検討



省力的な人工授粉方法の開発

- メーカーや国の研究機関等と連携し、  
 各種機械について開発や実証試験を実施



剪定枝収集機の実証



剪定枝粉碎機の実証



自動草刈り機の動態展示

## りんご研究所育成品種

8月中旬 **あおり16** (2004年登録)

商標：<sup>こいぞら</sup>恋空



(あかね×(東光×リチャード)) × 夏緑  
 外観：濃紅色で着色が良い  
 円～扁円、250g程度  
 味：甘味が強く食味が良い  
 貯蔵性：冷蔵で2週間程度  
 その他：収穫前落果は少ない

9月上旬 <sup>へに</sup>**紅はつみ** (2018年登録)



つがる × さんさ  
 外観：鮮紅色で縞は無～不明瞭  
 300～350g程度  
 味：果汁が多く、甘さと酸味のバランスが良い濃厚な食味  
 貯蔵性：冷蔵で1か月程度  
 その他：着色良好、収穫前落果は少なく  
 落果防止剤は不要

10月中旬 **あおり24** (2013年登録)

商標：はつ<sup>こい</sup>恋ぐりん



グラニースミス × レイ8  
 (東光×紅玉)  
 外観：光沢のある鮮やかな緑色  
 円、300g程度  
 味：酸味のある濃厚な味  
 貯蔵性：冷蔵で3か月程度  
 その他：生食・調理両用  
 ※果肉は加熱調理で溶けるので、  
 ジャム、ソース、アップルパイ向き

10月中旬 **あおり27** (2008年登録)

商標：<sup>ちゆき</sup>千雪



金星 × マヘ7  
 外観：濃紅色で扁円、  
 果面が目立つ  
 300～350g程度  
 味：甘味で肉質が粗い、芳香がある  
 貯蔵性：冷蔵で2か月程度  
 その他：果肉が変色しない

すり下ろし  
24時間生



10月下旬 **あおり15** (2004年登録)

商標：<sup>ほし</sup><sup>まんが</sup>星の金貨



ふじ × 青り3号(東光×リチャード)  
 外観：黄色で円～円錐、300g程度  
 味：甘味が強く、多汁で食味良好  
 果皮が薄く丸かじりにも向く  
 貯蔵性：貯蔵力が高い  
 (普通冷蔵で6月まで)

11月上旬 **あおり21** (2008年登録)

商標：<sup>しゅんめい</sup>春明21



ふじ × レイ8  
 外観：鮮紅色で円～長円  
 350～450g程度でバラツキがある  
 味：収穫時は酸味が強く非常に硬い  
 長期貯蔵後は甘酸適和  
 貯蔵性：普通冷蔵で6月頃まで  
 食べ頃は収穫翌年の4月～6月頃

- 目的：重要病害虫の効果的な防除法の確立
- 成果：薬剤耐性が発達した黒星病の新たな薬剤の実用化と普及
- 目的：天敵や気門封鎖剤を利用したハダニ類の効果的な防除法の確立
- 成果：伝染源となる被害落葉を効率的に収集できる落葉収集機の開発



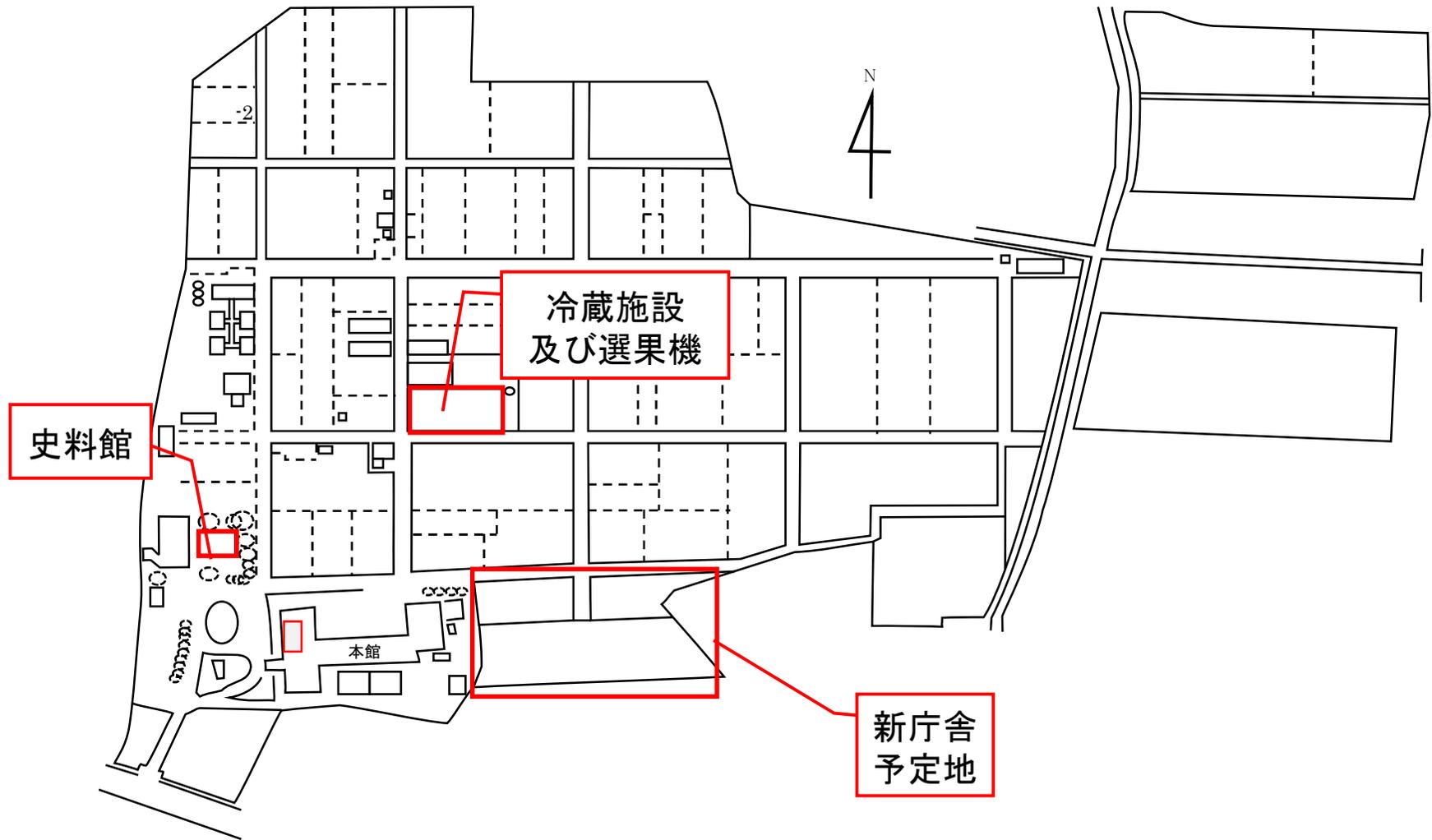
落葉収集機

- 目的：薬剤耐性菌、薬剤抵抗性害虫のモニタリング調査
- 成果：天敵を活用した  
化学農薬使用量の低減



ナミハダニを捕食するツウカブリダニ

# りんご研究所見取り図



# りんご史料館



- りんご研究所の旧庁舎
- 昭和6年にイギリスにイーストモーリング研究所の建築様式を参考に建てられました。初めは青森県苹果（へいか）試験場と言いましたが、昭和25年に青森県りんご試験場と改称されました。
- 昭和43年に現庁舎が完成以降、りんご史料館として利用され、老朽化により平成13年に改修されました。